

物的環境に関連するインシデント・アクシデント事例

事例番号 267

発生場所	病室	精神・意識障害の有無	リスク
発生場所 (その他)			
関連したもの	その他	発生内容の分類	D. スタッフによる物の不適切な使用・利用・選択・設置・確認不足によるリスク
		転倒	

発生内容

床頭台横転によるケガ

概要

自力で起き上がれない認知症患者のベッドサイドに設置されている床頭台が、ベッド側に斜めに横転し、ベッド柵を掴んでいた患者の指が挟まれ裂傷となった。

要因

カーテンを引っ張るなどの動作がよく見られていた患者なので、自分で床頭台を引き寄せようとして、床頭台のキャスター部分に電源コードが嵌り込み、そこが支点となって床頭台が横転したと考えられた。(床頭台は高さ約180cm位あり動かそうとしても簡単に横転などしない重量があるもので、寝たままの体勢で床頭台のタオル掛け付近を引っ張る動作を実験してみたが、横平面移動するだけで横転しなかった)

対策

①患者に使用しているME関係の電源コードやテレビの電源・アンテナコード類がベッドサイドに這っている事が無いように各病棟スタッフに指導した。②臨床工学技士が毎日のラウンドの際にチェックする。

参照



写真①；床頭台が横転した状態を再現した



写真②；床頭台のキャスター部分に電源コードが嵌り込んだと思われる状態を再現した